

# 真備地区復興ビジョン <倉敷市>

## はじめに

平成30年7月豪雨により、真備地区において甚大な被害が生じたことから、早期復旧・復興と更なる発展に向けた道筋を示すため、「真備地区復興計画」の策定を進めています。

「真備地区復興ビジョン」は、復興に向けた方向性として、「真備地区復興計画」で掲げる基本理念や基本方針と復興に向けて今後取り組む主要な施策などを示すものです。

《真備地区復興計画の構成》



## 計画対象地域

倉敷市真備町全域

## 計画期間

5年間（2019年度～2023年度）

## 復興に向けた基本理念・基本方針

### 基本理念

豊かな自然と歴史・文化を未来へつなぐ真備  
～安心・きずな・育みのまち～

今回の平成30年7月豪雨災害を経験した真備だからこそ、住民一人ひとりの防災意識が高く、みんなで安心して暮らせる災害に強いまちをつくる。

人々の支え合いと協働により、これまでのきずなをより深め、また新たな交流を育むことで、笑顔あふれる元気なまちをつくる。

これらに加えて、真備の地域資源・産業を育み活かすことで、真備の魅力をさらに伸ばし、未来へつながる活力あるまちをつくる。

### 基本方針



## 方針1 経験を活かした災害に強いまちづくり

### 主要な施策

#### ① まちを守る治水対策

- ・ 国・市が連携した、小田川合流点付替え事業の早期完成
- ・ 国・県・市が連携した、小田川及び末政川・高馬川・真谷川・大武谷川の堤防復旧・強化
- ・ 河川改修事業の進捗状況の見える化など、わかりやすい情報提供

#### ② 身近な緊急避難場所の確保

- ・ 各学区に緊急避難場所を確保する

#### ③ 災害に強い都市基盤づくり

- ・ 災害時の緊急輸送を円滑に実施する幹線道路、避難路の確保
- ・ 安全な住宅の再建促進

#### ④ 地区ごとの防災体制づくり

- ・ 住民による地区防災計画の作成と、教訓を活かした防災教育等を通じた防災意識の向上
- ・ 高齢者、障がい者、子どもなど、誰もが安全な場所に避難できるように、支え合いと協働により避難体制を強化
- ・ 今回の災害を後世に伝え、将来に備える

## 方針2 みんなで住み続けられるまちづくり

### 主要な施策

#### ① 被災者の生活支援

- ・ 生活再建に向けた各種支援の継続と、支援制度の情報提供
- ・ 健康状態の確認や孤立防止などのための見守り支援

#### ② 安定した住まいの確保

- ・ 生活の基盤となる住まいの自力再建の支援
- ・ 被災家屋の解体撤去支援
- ・ 民間の地域優良賃貸住宅などの整備促進
- ・ 被災した市営住宅の再建
- ・ 自力再建が困難な方のための災害公営住宅の整備

#### ③ 暮らしを支える公共施設等の復旧

- ・ 支所・消防分署・学校・幼稚園・保育園・文化施設などの公共施設、医療・福祉施設などの暮らしを支える各種施設の早期復旧
- ・ 復興の段階に応じた公共交通など移動手段の確保
- ・ 地域コミュニティの再生に向けた、住民活動の拠点となる施設の早期復旧

## 方針3 産業の再興による活力あるまちづくり

### 主要な施策

#### ① 農業の再興

- ・被災農業者の早期営農再開に向けた支援
- ・農業者にとって魅力とやりがいのある農業構造への転換

#### ② 地域企業の再興

- ・被災中小企業の早期事業再開に向けた支援
- ・地域資源を活かした販路開拓支援

#### ③ 賑わいと交流の創出

- ・復興商店街や復興イベントなどへの支援
- ・吉備真備公・日本遺産の箭田大塚古墳・金田一耕助など、全国レベルの観光資源を活かした取り組み



## 方針4 地域資源の魅力をおぼすまちづくり

### 主要な施策

#### ① 豊かな自然と歴史・文化の魅力を発信

- ・真備の自然と歴史・文化など地域資源を活用し、真備の魅力を全国・世界に発信することで、交流人口を拡大

#### ② 未来につながるまちづくり

- ・賑わいや交流の促進に向けた拠点づくりや、身近な生活を支える機能の向上などによる持続可能なまちづくり



## 方針5 支え合いと協働によるまちづくり

### 主要な施策

#### ① 住民主体のまちづくり

- ・住民、事業者、NPO、各種団体、行政などが相互に連携し、復興に係わる全ての人々が主体的にまちづくりに参画

#### ② 国・県・市の連携による情報提供

- ・国・県・市が連携して推進する、復興計画に掲げる復旧・復興の取り組みや進捗状況などのわかりやすい情報提供



## 今後の展開（真備地区復興計画の策定に向けて）

平成31年3月末までに策定を予定している「真備地区復興計画」では、住民の皆様のご意見を踏まえながら検討を行い、「真備地区復興ビジョン」（以下、復興ビジョンという）を具体化し、復興ビジョンで示す基本理念や主要な施策などの方向性に基づき、「具体的な取り組み（個別の施策・事業）」などを定め、市のめざすまちの姿や、取り組む内容を示した「倉敷市第六次総合計画」とも連携を図りながら、復旧・復興を強力に推進していきます。

	復興計画の策定	復興計画策定委員会	市民参画
H30. 9	現況・課題・復興に向けた 取り組み内容の整理など		
H30.10			
H30.11	復興ビジョンの検討	● 第1回（11/21） ・真備地区の現況 ・復旧・復興に向けた課題	● 復興懇談会
H30.12	● 「復興ビジョン」策定	● 第2回（12/20） ・復興ビジョン（案）	住民意向調査
H31. 1	「復興計画（素案）」作成	● 第3回（1月下旬予定） ・復興計画（素案）	● 復興懇談会
H31. 2			パブリックコメント
H31. 3	「復興計画（案）」作成 ● 「復興計画」策定	● 第4回（3月下旬予定） ・復興計画（案）	

### 真備地区の復興に向けた取り組みの推進

【問い合わせ先】

倉敷市建設局災害復興推進室

〒710-8565 岡山県倉敷市西中新田640番地

TEL：086-426-3460, FAX：086-421-1600, E-mail：reprm@city.kurashiki.okayama.jp